



HT220-60

HT220-75

HT220-75H

HT220-100

HT220-100H

CHT220-60

目次

はじめに.....	2	トラブルシューティング.....	20
安全性.....	5	搬送・保管・廃棄.....	21
操作.....	11	主要諸元.....	22
メンテナンス.....	15		

はじめに

お客様へ

このたびはハスクバーナ・ゼノア製品をお買い上げいただき誠にありがとうございました。この取扱説明書は、製品の正しい取扱い方法、簡単な点検およびメンテナンスについて説明しています。

ご使用前によくお読みいただいて十分理解され、お買い上げの製品が優れた性能を発揮し、かつ快適な作業をするためこの冊子をご活用ください。

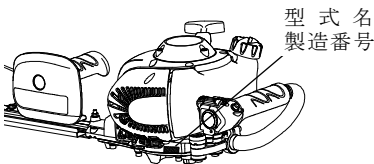
また、お読みになった後必ず大切に保管し、分からないことがあった時には取り出してお読みください。なお、製品の仕様変更などにより、お買い上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

サービスと保証について

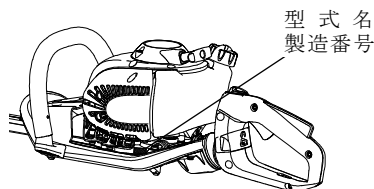
ご相談窓口

本製品に関するお問い合わせや消耗品のお求め、サービスのご用命は、お近くの販売店で承ります。お問い合わせの際は型式名と製造番号（下図参照）をご連絡ください。製品技術・その他に関してお気づきの点やご意見等ありましたらお気軽に弊社営業窓口（裏表紙記載）にお寄せください。

HT220-60, HT220-75, HT220-75H, HT220-100, HT220-100H



CHT220-60



保証書について

本製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ日・型式名・製造番号」の記入押印をお確かめのうえ販売店から受け取っていただき、内容を良くお読みのあと大切に保管してください。

補給部品の供給年限について

本製品の補給部品の供給年限は製造打切後 8 年です。ただし、供給年限内であっても特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。補給用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。



警告：機械の改造は危険ですので、改造しないでください。改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は、メーカー保証の対象外になりますのでご注意ください。

製品の説明

当社は継続的に製品の開発を行っています。そのため、設計や外見などが予告なく変更されることがあります。

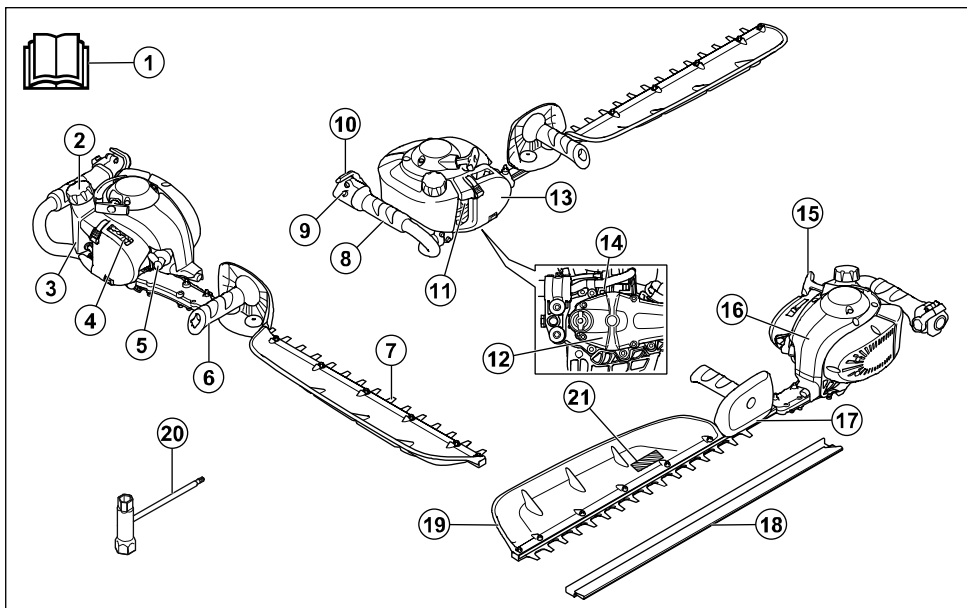
注記：本製品は、2 サイクルエンジンを搭載したヘッジトリマです。

用途

本製品は、生け垣など低木植栽及び茶樹の刈り込みを用途として設計されています。不測の事故を招く恐れがありますので、所定用途以外の目的には使用しないでください。

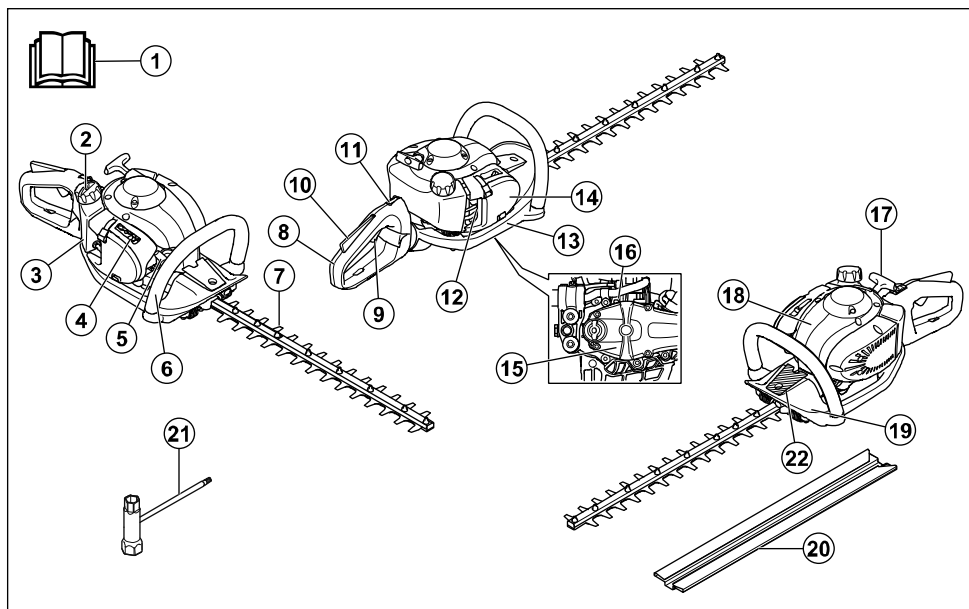
注記：本製品の使用においては、国内の規制が課せられる場合があります。

製品の概要 - HT220-60, HT220-75, HT220-75H, HT220-100, HT220-100H



1. 取扱説明書
2. 燃料タンクキャップ
3. 燃料タンク
4. チョークレバー
5. プラグキャップ (スパークプラグ)
6. フロントハンドル
7. ブレード
8. リアハンドル
9. エンジンスイッチ
10. スロットルレバー
11. プライマポンプ
12. ギヤハウジング
13. エアクリーナ
14. グリスニップル
15. スタータノブ (リコイルスタータ)
16. エンジンカバー
17. ハンドガード
18. ブレードカバー
19. 葉受け板
20. ツール (ソケット)
21. コーシヨラベル

製品の概要 - CHT220-60



1. 取扱説明書
2. 燃料タンクキャップ
3. 燃料タンク
4. チョークレバー
5. プラグキャップ (スパークプラグ)
6. フロントハンドル
7. ブレード
8. リアハンドル
9. スロットルトリガー
10. セーフティロックレバー
11. エンジンスイッチ
12. プライマポンプ
13. フレーム
14. エアクリーナ
15. ギヤハウジング
16. グリスニップル
17. スタータノブ (リコイルスタータ)
18. エンジンカバー
19. ハンドガード
20. ブレードカバー
21. ツール (ソケット)
22. コーシヨラベル

製品に表記されるシンボル



警告！本製品の使用には危険が伴います。不注意な取り扱いや誤った取扱いは、作業人や周囲の人などの負傷または死亡事故を引き起こすおそれがあります。作業人や周囲の人の負傷を防止するため、本取扱説明書に記載されている安全注意事項をすべて読んで、従ってください。



この取扱説明書をよくお読みになり、内容をしっかりと把握したうえで、使用してください。



常に下記のを着用してください。

- 耳栓（イヤマフ）
- 防護メガネ（ゴーグル）
- 粉塵の恐れがある場合は防塵マスクを使用してください。
- 物が頭上に落下する恐れのある場所では、保護用のヘルメットを使用してください。



警告！摺動するブレードにより指または手を切断する危険があります。ブレードに手を近づけないでください。



ハンドル調整用ロック：CHT220-60
リアハンドルの角度を作業し易い向きに変えることができます。



認可された保護手袋を着用してください。



燃料の給油口および使用燃料の種別が「混合ガソリン」であることを示します。



プライマポンプを押すとキャブレタに燃料が満たされることを示します。



チョークレバー：開位置



チョークレバー：閉位置

yyyywwxxxxx 製造番号は銘板に記載されています。
yyyy は製造年、ww は製造された週で、xxxxx はシリアル番号です。

製造物責任

製造物責任法に基づき、当社は、次の場合については本製品を原因とする損傷について責任を負いません。

- 本製品が誤って修理された場合。
- メーカーによるものではない部品、またはメーカーの認可していない部品を使用して本製品を修理した場合。
- メーカーによるものではないアクセサリ、またはメーカーの認可していないアクセサリを本製品に使用した場合。
- 認定サービスセンタまたは認定機関で本製品が修理されていない場合。

安全性

安全性の定義

警告、注意、注記は、取扱説明書の特に重要な部分を示すために使用されます。



警告： 取扱説明書の指示に従わない場合、使用者が負傷したり、死亡したりするか、あるいは付近の人に損傷を与える危険があることを意味します。



注意： 取扱説明書の指示に従わない場合、製品やアタッチメント、他の物品、または隣接するエリアに損傷を与える危険があることを意味します。

注記： 特定の状況で必要とされる詳細情報を提供するために使用されます。

一般的な安全注意事項



警告：本機を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- いかなる理由であれ、製造者の認可を得ることなく本機に改造を加えないでください。常に純正の部品をお使いください。不認可の改造や付属品は、使用者やその他の人の重傷や致命傷の原因となることがあります。
- 何らかの改造を受け、出荷時の仕様と異なっている製品は、絶対に使用しないでください。
- 本機に欠陥がある場合は絶対に使用しないでください。本取扱説明書の内容に従って、安全点検、メンテナンス、サービスを行ってください。メンテナンスやサービスの内容によっては、専門家で行わなければならないものもあります。手順については、「メンテナンススケジュール 15 ページ」を参照してください。
- 本機に関するすべてのサービス、修理には、特別な研修が必須です。安全装置には、特に研修が必要です。安全装置に欠陥のある製品は決して使用しないでください。本取扱説明書の点検に基づき、本機に不具合が見つかった場合は、お近くの販売店に連絡してください。本機の安全装置は、本取扱説明書の説明に従ってメンテナンスする必要があります。弊社の製品を購入されると、専門的な修理とサービスの提供が保証されています。
- 周囲の人、動物および物品等を様々な事故や危険にさらさないようにする責任は、使用者にあることを常に意識してください。

操作のための安全注意事項



警告：本機を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 本機は高速復動する刃物を装備しているため、操作を誤ると非常に危険です。
- 不注意な取り扱いや誤った取り扱いをすると、本機は危険な道具となり、重傷や時には致命傷の原因となります。この取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解することが非常に重要です。
- 長時間騒音にさらされることは、恒久的な聴覚障害の原因になることがあります。本機を使用する際は、認可された耳栓（イヤマフ）を必ず着用してください。
- 使用前に本機全体の点検を実施してください。点検時期については、「メンテナンススケジュール 15 ページ」を参照してください。
- 疲労時や飲酒後、視力・判断力・動作に影響を及ぼすような医薬品を服用している場合は、絶対に本機を使用しないでください。

- 疲労が重なるとう注意力が低下し、事故の原因となります。作業計画にはゆとりを持たせ、1回の連続作業時間は30～40分を限度とし、10～20分の休憩を取ってください。また、1日の作業時間は2時間以内としてください。
- 身体保護具を着用してください。詳細については、「**使用者の身体保護具 7 ページ**」を参照してください。
- 感電の危険を回避するために、プラグキャップやイグニッションリードが損傷していないことを確認してください。
- 作業者は、15 m 以内に人や動物がいないことを確認してください。複数の作業者が同じ作業領域で作業する場合は、常に互いに 15 m 以上の安全な距離を取ってください。
- 子供に本機を操作させないでください。
- 本取扱説明書の内容を理解していない人には決して本機の使用を許可しないでください。
- 地域の行政機関に相談して法令への準拠を守ってください。
- 体のあらゆる部分を、高温の表面から遠ざけるようにしてください。
- 本機を屋内で始動しないでください。排出ガスを吸入すると危険です。
- 周囲を良く見回してください。人や動物が本機に接触することがないことを確認してください。作業エリアに人が近づいて来たら、その人との間に安全な距離が確保できるまでスロットルレバーをアイドル位置にします。
- 循環器系に障害のある人が振動を長期間受け続けると、循環器障害や神経障害を起こすことがあります。過度の振動を受け続けたために症状が現れた場合は、医師の診断を受けてください。症状にはしびれ、感覚麻痺、ビリビリ感、刺痛、痛み、脱力感、皮膚の色や状態の変化などがあります。これらの症状は通常、指や手、手首に現れます。この症状は低温の環境下でよく起こります。白ろ病発症のリスクを低減するために、次の注意事項を守ることを強く推奨します。
 - 厚手の防振手袋を着用すること。
 - 頻繁に暖かい場所で 5 分以上の休憩を取ること。
 - ハンドルは常にしっかりと握ること。ただし、持続的に過度の圧力をかけて握ることは避けること。
 - 指や、体の他の部分に違和感や赤み、腫れがある場合には、悪化する前に医師の診察を受けること。
- エンジンの排出ガスには、中毒を引き起こす一酸化炭素が含まれています。このため、屋内あるいは通気の悪い場所で本機を始動または運転しないでください。エンジンの排出ガスは高温で火花を含むこともあり、火災発生の原因となります。屋内や可燃物のそばでは、決して本機を始動しないでください。
- 燃料を給油する場合は、エンジンが冷えるまで待ってください。

- 猛暑、濃霧、豪雨、強風、厳寒など、気象条件の悪いときは、本機を使用しないでください。悪天候下での作業は、疲れやすく、また、足元が滑りやすくなるなど危険です。
- 身体の動きが自由に取れ、足場が良いことを確認してください。とっさに身をかわさなければならぬ場合に邪魔になる物（木の根、岩、枝、溝など）が周囲にあるかどうか確認してください。斜面での作業は特に注意してください。
- エンジンをかけたまま本機を地面に置く場合は、決して目を離さないでください。
- 欠け、ひび割れ、曲がり等のあるブレードは、事故の危険性を増加させますので使用しないでください。
- 良く目立てされたブレードを使用してください。
- エンジンの動作中、ブレードに体のあらゆる部分を近づけないようにしてください。
- 作業中、ブレードに何かが詰まった場合、エンジンを停止し、ブレードが完全に停止してから詰まりを取り除いてください。
- エンジンを停止したときは、ブレードが完全に止まるまで、ブレードに体のあらゆる部分を近づけないでください。
- 事前に作業エリアを点検し、金属棒、金属ワイヤ、電線等が作業エリアにないことを確認してください。
- 常に安全かつ安定した足場で本機を使用してください。
- ハシゴ、踏み台、その他の不安定な台に乗って作業しないでください。
- 事故のときに助けを求めることができない状況で、本機を使用しないでください。
- 作業中は飛散物に気をつけてください。常に防護メガネ（ゴーグル）を着用してください。石やごみなどが目に入って、失明や重傷となる可能性があります。
- エンジンカバーの排出ガス出口が壁やその他の障害物で塞がれている場合は、本機を操作しないでください。製品が損傷する可能性があります。操作中は、障害物からの距離が **50 cm** 以上あることを確認してください。
- 清掃する前は、必ずエンジンを停止してください。
- 本機を始動する際は、必ず給油場所から移動し、平らな場所で始動してください。
- 本機は正常に組み立てられた状態でのみ、始動することができます。
- 常に両手で本機を保持してください。本機は体の前で持ってください。
- 作業中や運搬中に本機に強い衝撃を与えたり、落下させたりすると損傷の原因になります。また、作業中にブレードで異物を噛み込むとブレードが破損し異常振動の原因になります。エンジンが停止した状態で本機に損傷がないか確認してください。損傷があれば作業を中止して修理してください。

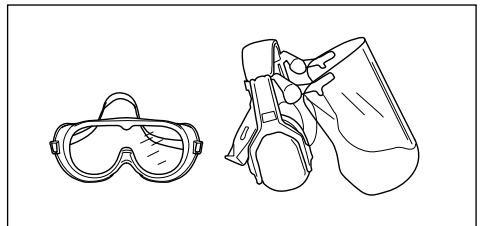
- すべてのナット、スクリューおよびボルトが確実に締められているかどうかを確認します。
- ギヤハウジング内が適切に潤滑されるように「ギヤハウジング内へのグリス補充方法 19 ページ」に従い、グリスを補充してください。
- 使用中、ギヤハウジングは高温になります。やけど防止のため、ギヤハウジングに触らないようにしてください。
- 本機を使用しないときは、常にブレードカバーをブレードに装着してください。
- 本機は、運転中に電磁場を生成します。この電磁場は、場合によっては能動あるいは受動的な医療器具に影響を及ぼすことがあります。深刻なまたは致命傷の危険を避けるため、医療器具を使用している人が本機を操作する前に、主治医および医療器具の製造元に相談することをお奨めします。

使用者の身体保護具

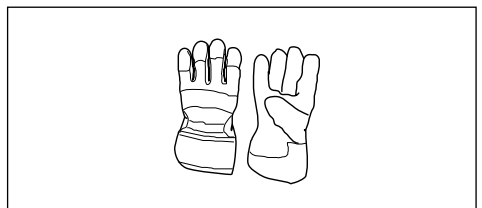


警告： 本機を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 本機を使用するときは、常に、認可された身体保護具を着用してください。身体保護具で怪我を完全に防止できるわけではありませんが、万が一事故が起こった場合、負傷の度合いを軽減することができます。適切な保護具の選択については、販売店にご相談ください。
- 騒音を十分に軽減する、認可された耳栓（イヤマフ）を必ず着用してください。長時間騒音にさらされることは、恒久的な聴覚障害の原因になることがあります。
- 認可された防護メガネ（ゴーグル）を着用してください。はじき飛ばされた枝等が飛び散り、目に損傷を与えるおそれがあります。



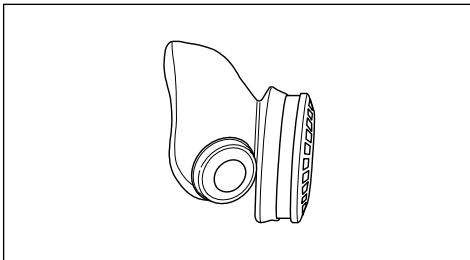
- ブレードの取り付け、点検および清掃を行うときは、保護手袋を使用してください。



- 丈夫で滑りにくいブーツを着用してください。



- 厚手の長ズボン、ブーツ、手袋、および長袖シャツを常に着用してください。小枝や枝葉等が引っ掛かるようなゆったりした衣服、スカーフ、宝飾品などは身に着けないでください。髪の毛は肩より上になるように留めてください。
- 粉塵の恐れがある場合は防塵マスクを使用してください。



- 救急器具を近くに準備するようにしてください。



本機の安全装置



警告： 本機を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

この項では、本機の安全機能とその目的、本機の正しい動作を確保するための点検とメンテナンスの方法について説明します。本機の部品の位置については、「製品の概要 - HT220-60, HT220-75, HT220-75H, HT220-100, HT220-100H 3 ページ」および「製品の概要 - CHT220-60 4 ページ」を参照してください。

本機のメンテナンスを適切に行わなかったり、専門技術者が整備・修理を行わなかったりすると、本機の寿命が短くなり、事故発生の危険性が増します。

詳しくは、お近くの販売店にお問い合わせください。



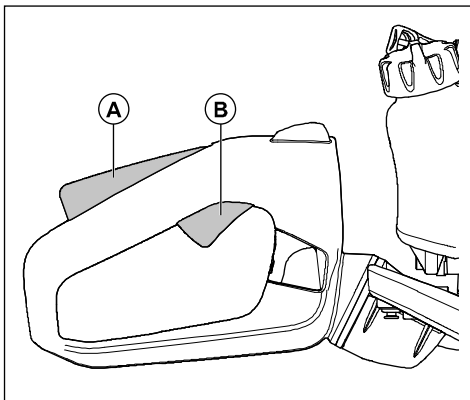
警告： 安全装置に欠陥のある製品は決して使用しないでください。本項目の記載に従って、本機の安全装置の点検、メンテナンスを行ってください。お持ちの製品がこれらの点検項目を一点でも満たさない場合は、お近くの販売店に修理を依頼してください。



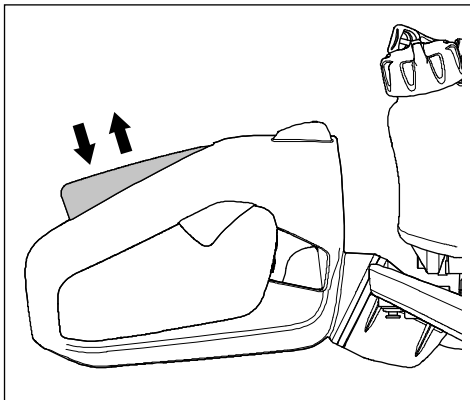
注意： 本機に関するすべてのサービス、修理には、特別な研修が必須です。安全装置には、特に研修が必要です。本取扱説明書の点検に基づき、本機に不具合が見つかった場合は、お近くの販売店に連絡してください。弊社の製品を購入されると、専門的な修理とサービスの提供が保証されています。

セーフティロックレバーの点検 CHT220-60

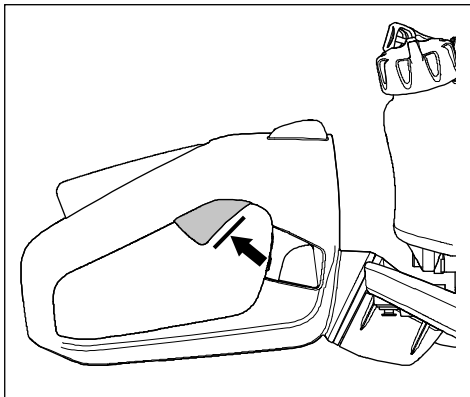
1. セーフティロックレバー (A) とスロットトリガー (B) がスムーズに動き、リターン springs が正しく機能することを確認します。



2. セーフティロックレバーを押し下げて、放すと元の位置に戻ることを確認します。



3. セーフティロックレバーを放した状態で、スロットルトリガーを操作しようとしても、ロックされて動かないことを確認します。



4. 本機を始動し、フルスロットルにします。
5. スロットルトリガーを放し、ブレードが停止して静止状態が保たれていることを確認します。



警告： スロットルトリガーがアイドリングの位置にあってもブレードが動いているときは、キャブレタのアイドリング速度を必ず調整してください。「アイドリング速度の調整方法 16 ページ」を参照してください。

エンジンスイッチの点検

1. エンジンを始動します。
2. エンジンスイッチを押し、エンジンが停止することを確認します。

ハンドガードの点検方法

ハンドガードは、ブレードによる体への負傷を防止します。

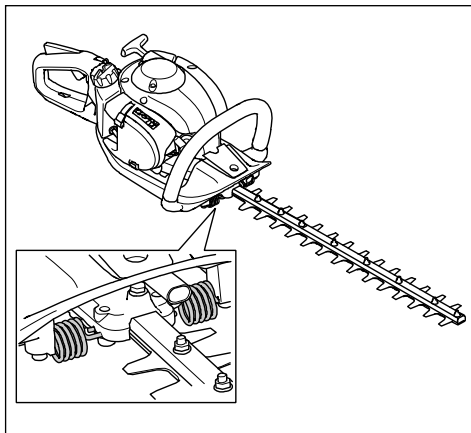
1. エンジンが停止した状態で、ハンドガードが正しく取り付けられていることを確認します。
2. ハンドガードに損傷がないか点検します。

防振装置の点検 CHT220-60

防振装置は、ギヤハウジングとフレームの間の防振スプリングにより、ハンドルへの振動を軽減します。

1. 防振スプリングの変形や損傷がないか目視点検します。

2. 防振スプリングが正しく取り付けられていることを確認します。



マフラの点検方法



警告： マフラに不具合のある製品は使用しないでください。

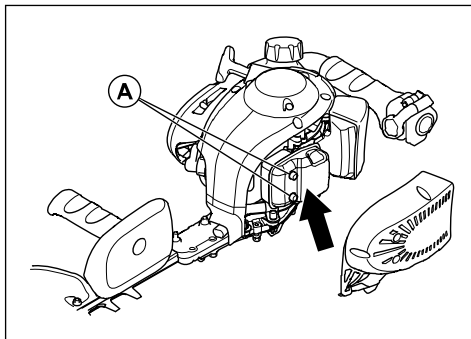


警告： マフラは、作業時およびアイドリング時に非常に高温になります。火傷を防ぐために保護手袋を着用してください。

1. エンジンが停止した状態で、マフラに損傷や変形がないか目視点検します。

注記： マフラ内部の化学物質には発ガン性のものがあります。万が一マフラが損傷した場合、これらの物質に触れないようにしてください。

2. マフラが本機に適切に取り付けられていることを確認してください。
締付トルク：(A) 7～10 N・m (70～100 kg・cm)



ブレードの点検

1. エンジンが停止した状態で、ブレードの点検を実施します。
2. 保護手袋を着用します。
3. ブレードに損傷や歪みがないことを確認します。損傷や歪みのあるブレードは必ず交換してください。
4. ブレードのスクリュがしっかり締まっていることを確認します。

燃料の安全について



警告：本機を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 燃料を屋内や熱源の近くで混合しないでください。
- 本機に燃料やエンジンオイルが付着している場合は始動しないでください。付着した燃料やオイルをふき取り、乾かしてください。
- 衣服にガソリンをこぼした場合は、すぐに着替えてください。
- 燃料が身体に付着しないようにしてください。負傷する場合があります。身体に燃料が付着した場合は、石鹸と水を使用して燃料を洗い流してください。
- 本機や身体にオイルや燃料をこぼした場合は、エンジンを始動しないでください。
- 本機から燃料が漏れている場合は、エンジンを始動しないでください。燃料の漏れがないかどうかは定期的に点検してください。
- 燃料に注意してください。酸化した燃料は爆発性があるため、負傷や死亡に至ることがあります。
- 酸化した燃料を吸引しないでください。負傷の原因になることがあります。十分な空気の流れを確保してください。
- 燃料やエンジンのそばで喫煙しないでください。
- 燃料やエンジンのそばに温かい物を置かないでください。
- エンジンを運転中に、燃料を給油しないでください。
- 燃料の給油は、エンジンが冷えてからにしてください。
- 燃料タンクキャップを開ける前に製品および補給用タンクを地面に置くなどして、帯電している静電気を除去してください。
- 燃料給油時に金属製の漏斗を使用しないでください。静電気が燃料に放電して火災の原因となります。
- 燃料を給油する前に、燃料タンクのキャップを開けて慎重にタンク内の圧力を解放してください。
- 屋内でエンジンに燃料を給油しないでください。十分な空気の流れがないと、窒息や一酸化炭素中毒によって負傷や死亡に至ることがあります。

- 始動する前に、燃料を入れた場所から本機を 3 m 以上移動させてください。
- 燃料タンクに燃料を入れすぎないでください。
- 本機または燃料容器を動かしたときに漏れないことを確認してください。
- 本機または燃料容器を裸火、火花、または種火がある場所に置かないでください。保管場所に裸火がないことを確認してください。
- 補給用燃料は、火気のない日陰に置いてください。
- 燃料を移動するとき、または燃料を保管場所に置くときは、認可されている容器のみを使用してください。
- 長期間保管するときは、燃料タンクを空にしてください。残った燃料の廃棄は、お近くの販売店またはガソリンスタンドに相談して適切な廃棄処分を行ってください。
- 長期間保管するときは、本機を清掃してください。
- エンジンが誤って始動しないようにするために、本機を保管する前にプラグキャップを外してください。

メンテナンスのための安全注意事項



警告：本機を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- エンジンを停止し、ブレードが完全に止まったことを確認します。本機が冷えてからメンテナンスを行ってください。
- 品質保証されていないアクセサリや交換部品を使用した場合、損害または製造物責任に対して保証が適用されることがあります。
- 高温によるやけどの恐れがありますので、エンジン運転中および停止後エンジンが冷えるまでは、マフラ、マフラカバー、シリンダ、スパークプラグなどの高温部に触れないでください。
- マフラ内部の化学物質には発ガン性のものがあります。万が一マフラが損傷した場合、これらの物質に触れないようにしてください。

操作

はじめに



警告： 本機を使用する前に、安全に関する章を読んで理解してください。



注意： アウトボードオイルとも呼ばれる水冷式船外機用の 2 サイクルエンジンオイルは絶対に使用しないでください。4 サイクルエンジンオイルも絶対に使用しないでください。

燃料

本機には 2 サイクルエンジンが搭載されています。



注意： 誤った種類の燃料を給油すると、エンジンが損傷する可能性があります。必ず、ガソリンと 2 サイクルエンジンオイルの混合燃料を使用してください。



警告： 燃料を取り扱う際は、常に十分な換気を行ってください。

燃料の混合方法

ガソリン

- 高回転での作業を連続する場合は、オクタン価の高いガソリンを使用することをお勧めします。

— ゼノア純正 ビッグバンガソリン —

ゼノア純正混合ガソリン「ビッグバンガソリン」は、運転休止期間の長いエンジン機器用に開発された 2 サイクルエンジン専用の混合燃料です。

- ◎ 変質しにくい特殊ガソリンの採用でキャブ詰まり追放
- ◎ エンジン内部を摩耗や汚れから守り、排気をきれいにする各種添加剤配合
- ◎ 混合の手間不要
- ◎ 給油・持ち運び・保管に便利な金属容器入り

などのすぐれた特長を持っており、運転休止の直前にお使いになるだけで、運転再開時のエンジントラブル予防効果を発揮します。詳しくはお近くの販売店にお問い合わせください。

2 サイクルエンジンオイル

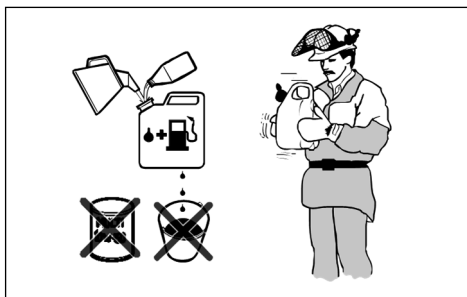
- 最良の効果と性能を得るには、ゼノア純正 2 サイクルエンジンオイル (FD 級) をご使用ください。このオイルは本機に使用される空冷式 2 サイクルエンジン用として特別に調合されています。(混合比 50:1)
- ゼノア純正 2 サイクルエンジンオイルが入手できない場合は、高品質の空冷エンジン用 2 サイクルオイルを使用することができます (JASO 性能分類 FD 級のオイル、混合比 50:1)。オイルを選択する場合は、販売店にお問い合わせください。

ガソリンと 2 サイクルエンジンオイルの混合方法

ガソリン、 L (リットル)	2 サイクルエンジンオイル、 L (リットル)
混合比 50 : 1 (2%)	
1	0.02
5	0.10
10	0.20
15	0.30
20	0.40



注意： 正しい混合比を確保するためには、オイルの量を正確に計量することが重要です。少量の燃料を混合する場合は、わずかな誤差でも配合に多大な影響を及ぼすことがあります。



- まず使用予定の半量のガソリンとオイルの全量を燃料用容器に入れ、容器をよく振って混ぜ合わせます。

注記： ガソリンとオイルを混合するときは、常に清潔な燃料用容器をご使用ください。

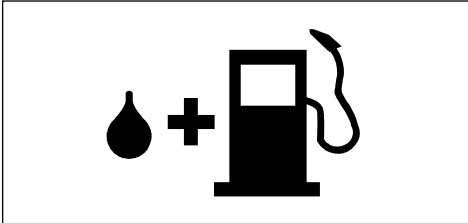
- 残りのガソリンを加え、容器を振って混ぜ合わせます。



注意： 1 ヶ月分以上の混合燃料を一度に作らないでください。

給油

1. 給油する本機を屋外の平坦な場所に置き、安定させてください。
2. 燃料タンクキャップの周囲をきれいにしてください。
3. 燃料タンクキャップを少しゆるめ、燃料タンク内と外部の気圧差を取り除いてください。
4. 燃料容器をよく振って十分混ぜ合わせます。
5. 燃料タンクキャップを取り外し、8分目を目安に少しずつ給油してください。



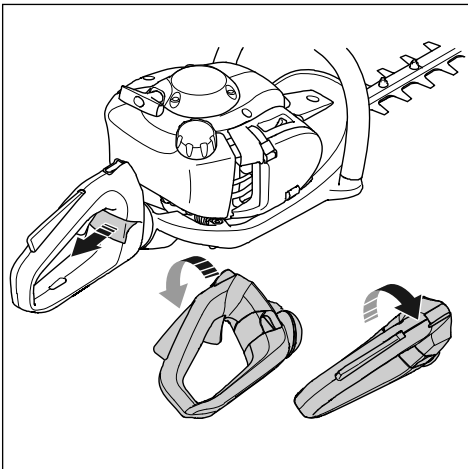
6. 給油が終わったらタンクキャップを確実に締め付けて、燃料漏れのないことを確認してください。
7. 給油場所から 3 m 以上離れた場所で始動してください。「本機の始動方法 12 ページ」を参照してください。

注記： 燃料タンクの位置を確認するには、「製品の概要 - HT220-60, HT220-75, HT220-75H, HT220-100, HT220-100H 3 ページ」または「製品の概要 - CHT220-60 4 ページ」を参照してください。

ハンドルの調整 CHT220-60

リアハンドルは 3 種類の角度に調整できます。

- ハンドルロックを解除し、ハンドルを回します。



本機の始動方法



警告： 本機を始動する際は、必ず給油場所から 3 m 以上移動してください。



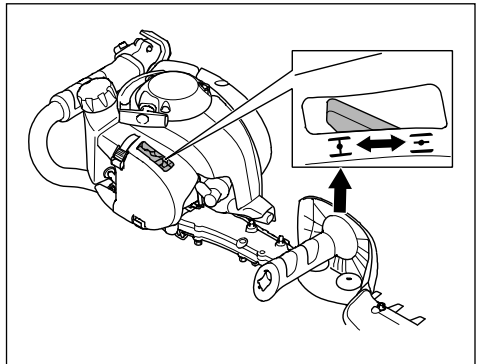
警告： 作業エリアに許可なく人が立ち入らないようにしてください。重傷事故の恐れがあります。安全距離は 15 m です。



警告： エンジンの始動、停止時、移動時は常にスロットルレバーをアイドル位置にしてください。スロットルレバーがアイドル位置以外になっていると、エンジンの始動時にブレードが動き始めてしまうので非常に危険です。

1. チョークレバーを「閉」位置まで動かします。

注記： エンジン停止直後に再始動する場合は、チョーク「開」位置のままかまいません。

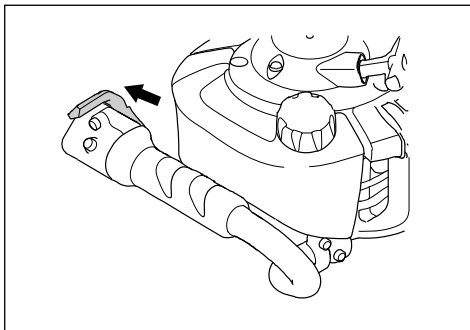


2. 燃料が透明パイプを通してタンクに戻り始めるまで、プライマポンプを指で押して離す操作を繰り返します。

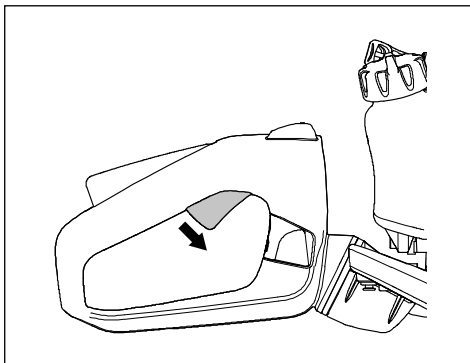
注記： タンクに燃料が残っている状態でエンジン停止直後に再始動する場合にはポンプ操作は必要ありません。

3. スロットルレバー/スロットルトリガーがアイドリング位置に設定されていることを確認します。

- a) HT220-60, HT220-75, HT220-75H, HT220-100, HT220-100H
アイドリング位置



- b) CHT220-60
アイドリング位置



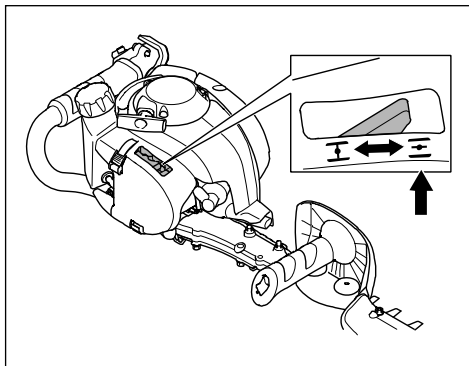
4. 左手で本機を地面に固定します。本機の上には乗らないでください。
5. 右手でスタータノブを引きます。スタータノブを始めは軽く引き出し、重くなったら力を込めて素早く引いてください。



警告： スタータロープを手に巻き付けないでください。

注記： スタータ故障の原因となりますので、ロープを一気に全部引き出したり、ノブから急に手を離して戻したりしないでください。

6. エンジンが始動するまでスタータノブを引き、始動したら、チョークレバーを徐々に「開」位置に移動します。



7. スロットルレバー/スロットルトリガーを操作して、エンジン回転数を徐々に上げます。
8. エンジンがスムーズに回転していることを確認し、2～3分低速で暖機運転してください。

注記： チョークレバーを「閉」位置にしたままロープを引き続けるとスパークプラグが濡れてエンジンがかからなくなることがあります。このような場合は、チョークレバーを「開」位置にしてからスタータロープを繰り返して引くか、スパークプラグをいったん取り外して電極を乾かしてから操作をやり直してください。

本機の停止方法



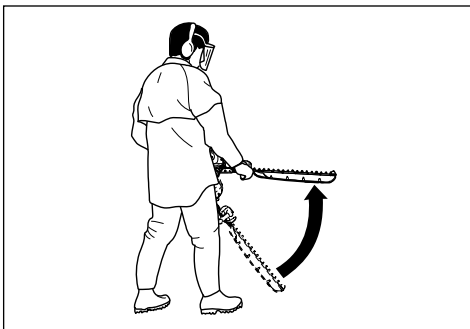
注意： スロットルレバーをフルスロットル位置にしたまま停止しないでください。

1. スロットルレバーをアイドリング位置にして 1～2 分間冷却運転します。
2. エンジンスイッチを押します。

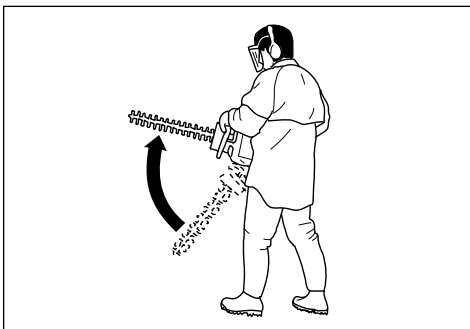
操作方法

- 生け垣の側面を刈り込むときは、地面の近くから刈り始め、生け垣に沿って本機を上方へ動かします。本機が地面に接触しないようにしてください。

a) HT220-60, HT220-75, HT220-75H, HT220-100, HT220-100H

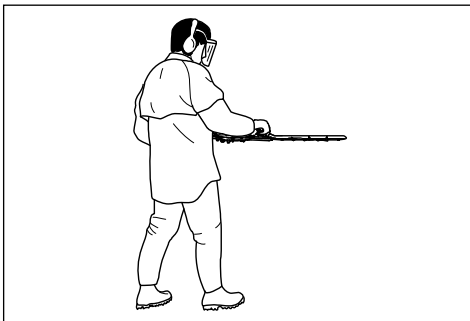


b) CHT220-60



警告： 作業は常にブレードが体から遠ざかる向きに操作してください。また、ブレードが地面に接触しないようにしてください。

- 本機を両手で体の近くに保持し、作業位置を安定させてください。



- エンジンの回転数は植え込みの密度や枝の太さに応じて、スロットルレバーで調整してください。
- エンジンの回転数は必要以上に高回転にせず枝などが刈り込める適切な速度で使用してください。

メンテナンス

はじめに



警告： 本機のメンテナンスを実行する前に、安全に関する章を読んで理解してください。

メンテナンススケジュール

本機で実施すべきメンテナンス手順のリストは以下の通りです。ほとんどの項目は、メンテナンスのセクションで説明されています。使用者は本取扱説明書に記載されているメンテナンスとサービスだけを実施してください。本書に記載されている内容以外のメンテナンスは、必ずお近くの販売店に依頼してください。

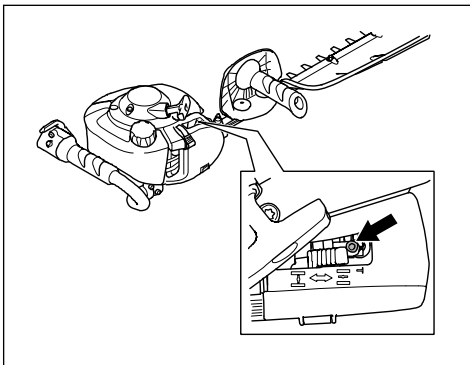
メンテナンス	毎日行う メンテナンス	毎週行う メンテナンス	毎月行う メンテナンス
本機の外側を清掃します。	●		
マフラ、排気パイプ、ブレード、エンジンから、葉、汚れ等を落とします。	●		
安全の観点から、スロットルレバーがアイドル位置のときにブレードが作動しないことを確認します。	●		
エンジンスイッチが正常に機能することを確認します。 (エンジンスイッチの点検 9 ページを参照)	●		
ブレードとブレードカバーに損傷やひびがないか点検します。損傷があれば交換します。	●		
ハンドガードに損傷やひびがないか点検します。損傷があれば交換します。	●		
エンジン、燃料タンク、燃料系から漏れがないか確認します。	●		
ナット、スクリューおよびボルトが確実に締められているかどうかを確認します。	●		
燃料フィルタに汚れがないか、燃料ホースに亀裂などの異常がないかを点検します。必要に応じて交換します。	●		
20 時間使用するごとに、ギヤハウジングにグリスを注入します。		●	
スタータとスタータローブに損傷がないか点検します。		●	
エアフィルタを清掃します。必要に応じて交換します。		●	
スパークプラグの外側を清掃します。スパークプラグを取り外し、電極ギャップを確認します。ギャップを適切に調整するか、スパークプラグを交換します。 (スパークプラグの点検方法 16 ページを参照)		●	
本機の冷却用空気取り入れ口・シリンダフィンを清掃します。		●	
キャブレタの外側と周辺を清掃します。		●	
燃料タンクを清掃します。		●	
シリンダ取付ボルトの増締め			●
エンジン各部の増締め			●
マフラカーボン落とし (マフラのメンテナンス方法 17 ページを参照)			●
すべてのコードと接続部を点検します。			●

アイドル速度の調整方法

エンジンは工場出荷時に調整されています。運転条件の変化（エンジンのなじみ、高地使用等）や運転中スロットルレバーをアイドル位置にしたときにエンジンが止まってしまったり、逆にエンジン回転が高過ぎるような場合は、以下の手順でアイドル調整スクリュを再調整してください。

調整しても改善しない場合は他の原因が考えられますのでお近くの販売店にご相談ください。

1. エアフィルタを清掃し、エアフィルタカバーを装着します。
2. 本機を始動します。「本機の始動方法 12 ページ」を参照してください。
3. ブレードが作動し始めるまで、アイドル調整スクリュ (T) を時計方向に回します。



4. ブレードが止まるまで、アイドル調整スクリュを反時計回りに回します。



警告： アイドリング速度の調整時にブレードが止まらない場合は、販売店にご連絡ください。
調整または修理が完了するまで、本機のご使用をお控えください。

5. アイドリング速度を、3000 rpm に調整します。

注記： アイドリング速度が適切な場合は、どの位置でもエンジンがスムーズに動作します。推奨されるアイドル速度については、「主要諸元 22 ページ」を参照してください。

スパークプラグの点検方法

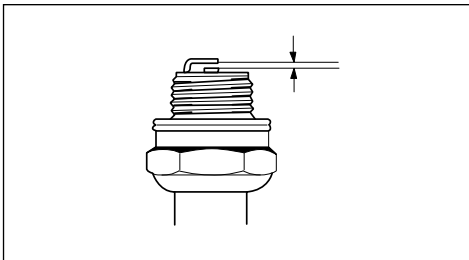


注意： スパークプラグは必ず、指定品を使用してください（「主要諸元 22 ページ」を参照）。指定外品を使用するとシリンダやピストンが破損することがあります。

スパークプラグの状態は次の原因によって悪化します。

- 不適切なキャブレタの設定
- 誤った燃料調合
（オイル過多または不適切な種類のオイルの使用）
- エアフィルタの汚れ

上記の要因によりスパークプラグ電極にカーボンが付着し、運転中の不具合や始動困難などの原因となります。エンジンのパワーが出ない、なかなか始動しない、アイドルリングが安定しないなどの場合は、スパークプラグを点検してください。スパークプラグの電極部が汚れていたら清掃し、電極ギャップが $0.6 \sim 0.7 \text{ mm}$ であることを確認します。スパークプラグは使用時間が延べ 1 か月に達したら、また必要に応じて交換してください。



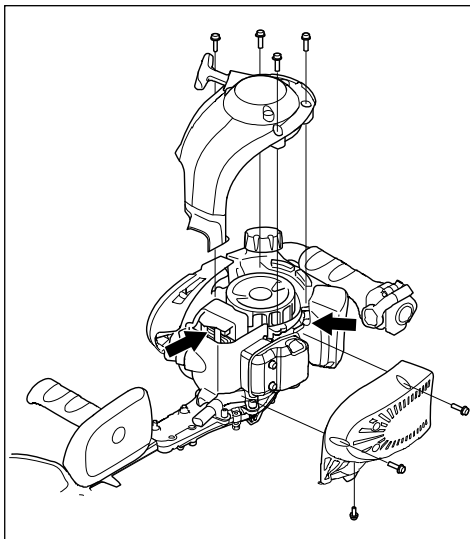
エンジン冷却用部品の清掃方法



注意： 冷却用空気取り入れ口・シリンダフィンに汚れや詰まりがあると、本機が高温になり損傷するおそれがあります。

- 運転時の温度をできるだけ低く保てるよう、本機には冷却用空気取り入れ口・シリンダフィンが装備されています。
- 冷却用空気取り入れ口・シリンダフィンに汚れや詰まりがないことを確認してください。
- 冷却用空気取り入れ口・シリンダフィンをブラシで週に一度、過酷な使用環境ではより頻繁に清掃してください。冷却用空気取り入れ口・シリンダフィンが汚れたり詰まったりしていると本機がオーバーヒートを起こし、ピストンやシリンダの損傷の原因となります。

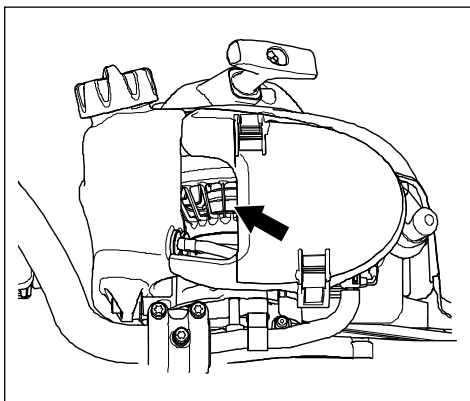
1. スクリューを外し、エンジンカバーとマフラカバーを取り外します。



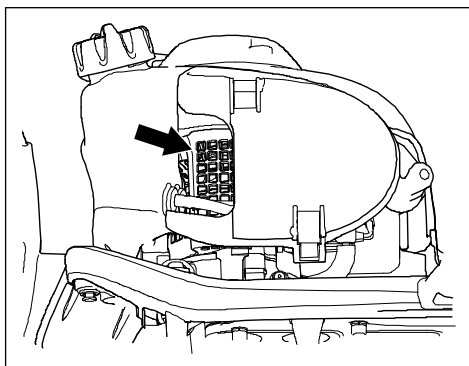
警告： 運転中は冷却用空気取り入れ口に、指や物を差し込んだりしないでください。回転部品に触れる恐れがあり危険です。

2. 20 時間使用するごとに冷却用空気取り入れ口・シリンダフィンを点検し、汚れや詰まりを清掃してください。

- a) HT220-60, HT220-75, HT220-75H, HT220-100, HT220-100H



- b) CHT220-60



3. エンジンカバーとマフラカバーを取り付け、スクリューで確実に締め付けます。

マフラのメンテナンス方法



警告： 不具合のあるマフラは使用しないでください。



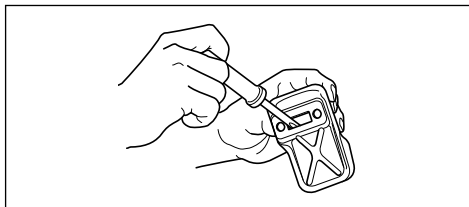
警告： マフラは、作業時およびアイドルリング時に非常に高温になります。火傷を防ぐために保護手袋を着用してください。

定期的なマフラを点検し、ボルトのゆるみ、損傷、錆の有無を確認してください。排出ガス漏れが見つかったときは、本機の使用をやめ、直ちに修理の依頼をしてください。

1. エンジンを停止し、マフラを冷やします。
2. スクリューを外し、マフラカバーを取り外します。
3. ボルトを外し、マフラを取り外します。

注記： マフラ内部の化学物質には発ガン性のものがあります。万が一マフラが損傷した場合、これらの物質に触れないようにしてください。

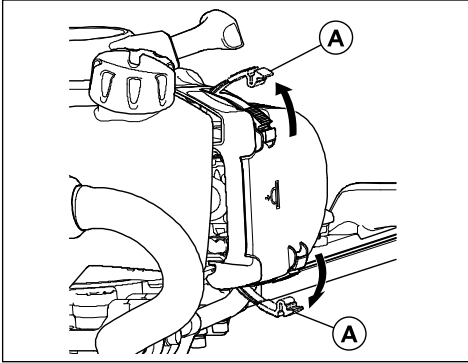
4. マフラの排気口からドライバを差し込み、マフラ内部のカーボンを落してください。同時にマフラ出口のカーボンも落してください。



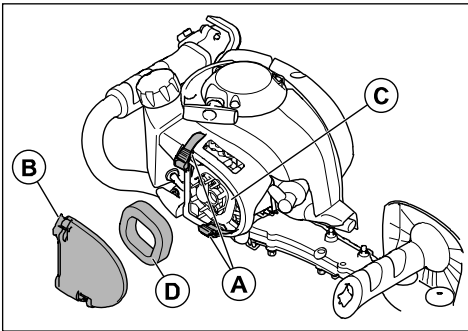
エアフィルタの清掃方法

エアフィルタを定期的に清掃して、汚れやほこりを取り除いてください。これにより、キャブレタの故障、始動不良、エンジン出力の低下、エンジン部品の摩耗を防止でき、適正燃費での運転ができます。エアフィルタは、運転時間 20 時間以下の間隔で清掃してください。また、過酷な運転条件で使用した際は清掃してください。

1. エアフィルタカバーの 2 箇所のクリップ (A) を外します。



2. エアフィルタカバー (B) を取り外します。
3. エアフィルタホルダ (C) からエアフィルタ (D) を取り外します。



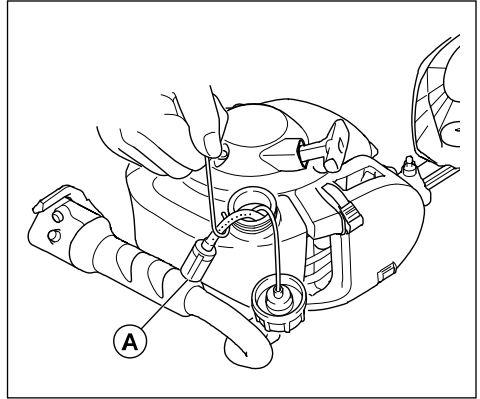
4. 石鹼水でエアフィルタを洗浄します。

注記： 長期間使用したエアフィルタの汚れを完全に除去することはできません。エアフィルタを定期的に交換してください。また、エアフィルタが変形・破損している場合は新品と交換してください。

5. エアフィルタを乾かします。
6. エアフィルタカバーの内側を清掃します。圧縮空気またはブラシを使用してください。
7. エアフィルタを取り付けます。
8. エアフィルタカバーを取り付けて、2 箇所のクリップを留めます。

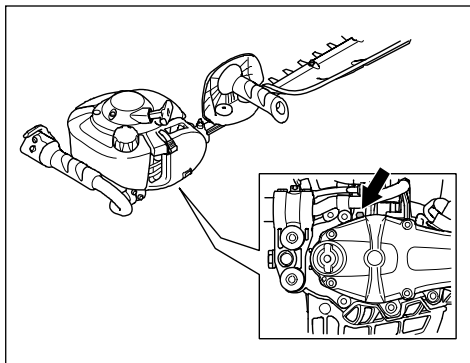
燃料フィルタの点検方法

- 20 時間使用すごとに燃料タンクから燃料フィルタ (A) を取り出し、ごみを取り除いてください。詰まりがひどい場合は新品と交換してください。
- 燃料フィルタが詰まるとエンジン回転が上がらなかつたり回転変動を起こしたりします。



ギヤハウジング内へのグリス補充方法

- ゼノア純正のグリスを使用してください。または、推奨されるグリスについて詳しくは、販売店までお問い合わせください。
- 20 時間使用すごとに、グリスニップルからグリスを注入します。ギヤハウジング先端部（ブレード根元）からグリスが出来るまで注入してください。



- 指定グリス：
ゼノア純正グリス 品番：318096251（100 g）
または、リチウム系耐熱用グリス（#2）

補足：ゼノア純正グリスを使用する場合は、グリスニップルを外し、そこに容器の先端をねじ込んで注入してください。

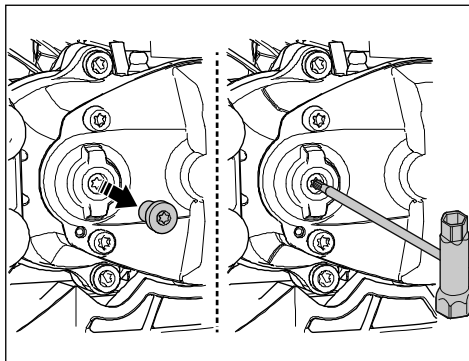
ブレードの清掃と潤滑方法

- 本機の使用前後に、ブレードに付着した枝葉の樹液（ヤニ、シブ）等を清掃してください。
指定ブレードクリーナ：
ゼノア純正ブレードクリーナ 品番：369992061A（420 ml）
- 長期間保管する場合は、ブレードを潤滑してください。

注記：推奨される潤滑油について詳しくは、販売店までお問い合わせください。

ブレードの点検方法

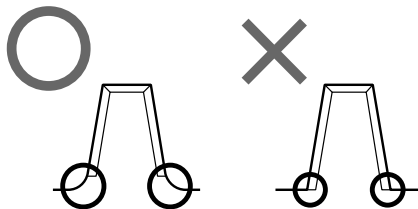
- ギヤハウジングのキャップボルトを取り外します。



- ブレードが自由に動くことを確認してください。ギヤシャフト端部に設置されたトルクス穴にソケットレンチをセットし、時計回りと反時計回りに回します。
- ブレードのエッジに損傷や変形がないか点検します。
- ブレードのバリをヤスリで削り取ります。
- ギヤハウジングのキャップボルトを取り付けます。

注記：

- ブレードはよく目立てされたものを使用してください。
- ブレードは、欠け、ひび割れ、曲がりなどがないことを確認してから使用してください。異常のあるブレードは絶対に使用しないでください。
- ブレードを研ぐときは、割れ防止のため必ず刃元に丸みをつけてください。



- ブレードの刃先は非常に鋭利なため不用意にさわると負傷する危険があります。ブレードの点検整備や研ぎ直しをするときは、革製の丈夫な手袋を着用して慎重に作業してください。

トラブルシューティング

エンジンが始動しない		
問題	考えられる原因	推奨される手順
燃料タンク	燃料の種類が間違っている。	間違った燃料を廃棄し、正しい燃料を使用します。
キャブレタ	アイドリング速度が適切でない。	アイドリング速度を調整します。 「アイドリング速度の調整方法 16 ページ」を参照してください。必要に応じて、販売店にご連絡ください。
点火しない	スパークプラグが汚れているか、濡れている。	スパークプラグの電極にカーボンや汚れが付着しているときは、ワイヤブラシで清掃します。また、電極が湿っている場合は、乾かしてください。
	電極ギャップが適切でない。	スパークプラグの電極ギャップを正しく調整します。 正しい電極ギャップについては、「主要諸元 22 ページ」を参照してください。
スパークプラグ	スパークプラグが緩んでいる。	スパークプラグを締め込みます。
燃料フィルタ	燃料フィルタが詰まっている。	燃料フィルタを清掃します。

エンジンは始動するが停止する		
問題	考えられる原因	推奨される手順
燃料タンク	燃料の種類が間違っている。	間違った燃料を廃棄し、正しい燃料を使用します。
キャブレタ	アイドリング速度が適切でない。	アイドリング速度を調整します。 「アイドリング速度の調整方法 16 ページ」を参照してください。必要に応じて、販売店にご連絡ください。
エアフィルタ	エアフィルタが詰まっている。	エアフィルタを清掃します。
燃料フィルタ	燃料フィルタが詰まっている。	燃料フィルタを清掃します。
エンジン冷却用部品	枝葉が詰まっている。	冷却用空気取り入れ口・シリンダフィンを清掃します。 「エンジン冷却用部品の清掃方法 16 ページ」を参照してください。

ブレード		
問題	考えられる原因	推奨される手順
ブレードの動きが遅い、または動かない。	ブレードに何かが詰まっているか、損傷している。	ブレード間に詰まった不要なものを取り除きます。 ブレードのバリを取ります。 「ブレードの点検方法 19 ページ」を参照してください。 損傷している場合は、ブレードを交換します。
ブレードの切れがよくない。	ブレードが鋭利でないか、損傷している。	ブレードの目立てを行います。 「ブレードの点検方法 19 ページ」を参照してください。 損傷している場合は、ブレードを交換します。
ブレードが高温になる。	ブレードに摩擦が生じている。	ブレードのバリを取り、ブレードを潤滑します。 「ブレードの点検方法 19 ページ」を参照してください。

搬送・保管・廃棄

- 本機と燃料は、電気機器、電気モータ、リレー／スイッチ、ボイラなど、火花や裸火を発生するものから離して保管・運搬し、液体漏れやガスによる火災発生の危険性をなくしてください。
- 燃料の保管や搬送を行う場合は、必ず認可された専用容器を使用してください。
- 本機を長期間保管する際は、必ず燃料タンクを空にしてください。残った燃料の廃棄は、お近くの販売店またはガソリンスタンドに相談して適切な廃棄処分を行ってください。
- プライマポンプを繰り返し押しつけてキャブレタ内に残った燃料を抜き、燃料タンクを完全に空にしてください。スパークプラグを取り外し、2 サイクルエンジンオイルを 1 ～ 2 mL エンジン内に入れてください。スタータロープを 2 ～ 3 回引いてからプラグを元通り取り付け、圧縮位置で止めてください。
- エンジンが誤って始動しないようにするために、本機を保管する前にプラグキャップを外してください。
- 長期間保管する際は、本機を清掃してください。
- 搬送の間、機器をしっかりと固定してください。
- 危険ですので自転車やバイクでの搬送はしないでください。
- 本機を塵やほこり、湿気がなく、涼しくて換気の良い場所に保管してください。本機は子供の手の届かない場所に保管してください。
- 本機を廃棄処分にする場合は、お近くの販売店にご相談ください。

主要諸元

主要諸元

名 称 ・ 型 式		ゼノアヘッジトリマ					
		HT220-60	HT220-75	HT220-75H	HT220-100	HT220-100H	CHT220-60
本体乾燥質量 (※) kg		4.0	4.1	4.2	4.5	4.6	4.2
外形寸法	全 長 mm	900	1035	1035	1290	1290	1025
	全 幅 mm	230					240
	全 高 mm	190					
ブレード	タ イ プ	片刃復動式					両刃復動式
	有効刈幅 mm	480	590	590	850	850	480
	刃 厚 mm	2.0	2.0	2.5	2.0	2.5	2.0
	刃高×ピッチ mm	23 x 37					
動力伝達方式		自動遠心クラッチ、平歯車、カムクランク					
減速比		5.11 (46:9)					
エンジン	形 式	単気筒空冷2サイクルガソリンエンジン					
	排 気 量 cm ³	21.7					
	燃料タンク容量 L	0.48					
	アイドル速度 rpm	3000					
	使 用 燃 料	潤滑油混合ガソリン 〔混合比：ゼノア純正オイル (FD級) 使用時 50 : 1〕					
	使 用 潤 滑 油	2 サイクルエンジン専用オイル					
	キ ャ プ レ タ	ダイヤフラム、ロータリーバルブ式					
	点 火 方 式	無接点式、フライホイールマグネト式					
	電 極 ギ ャ ッ プ mm	0.6 ~ 0.7					
	ス パ ーク プ ラ グ	チャンピオン RCJ-6Y					
始 動 方 式	リコイルスタータ式						
停 止 方 式	点火回路一次側短絡式						

(※) 燃料を除く。

改良などにより商品の細部仕様が本書記載内容と異なることがあります。予めご了承ください。



修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は
まず、お買い上げの販売店へお申し出ください。

製品・技術・その他のお問い合わせ

ハスクバーナ・ゼノア株式会社



0570-084987

月～金/9:00～17:00(土日祝、弊社指定休業日は除く)

<http://www.zenoah.co.jp/>

ハスクバーナ・ゼノア株式会社

本社：〒350-1165 埼玉県川越市南台1-9

取扱説明書原本

1142556-79



2021-03-01